

第4章 圏域の区分の設定

(1) 圏域の区分

本水道ビジョンでは、水道事業の現状分析と評価、課題の抽出、そして、将来目標の設定とその実現方策の検討を広域的な地域ごとに行うための圏域を設定します。

本県における圏域の区分については、「福岡圏域」、「北九州圏域」、「筑後圏域」及び「筑豊圏域」の4つの圏域を設定します。

(2) 圏域区分の考え方

圏域の区分の設定に当たっては、地理的・社会的な一体性、水源や水道用水供給の状況、広域的水道整備計画に基づく水道施設整備の実施状況、各水道事業者の広域連携に向けた取組状況に配慮するものとし、本県のすべての市町村がいずれかの圏域に含まれるように設定することとしました。

福岡県水道整備基本構想においては、「福岡地区広域圏」、「北九州地区広域圏」、「筑後地区広域圏」及び「筑豊地区広域圏」の4つの広域圏に区分しており、本水道ビジョンにおいてもこの区分を基本とすることとしました。

なお、朝倉市、筑前町及び東峰村については、基本構想では同一生活圏である「福岡地区広域圏」に含めていましたが、筑後地域広域的水道整備計画(平成14年12月策定)では同計画の対象区域に含めています。本水道ビジョンにおいては、同計画に基づき筑後地域として一体的に水道施設整備を進めてきたことを踏まえ、「筑後圏域」に含むこととします。

(3) 各圏域の特徴

【福岡圏域】

福岡圏域は福岡県の北西部に位置し、北及び西は玄界灘、南は佐賀県との県境となる背振山地、東は三郡山地に囲まれています。圏域内を流下する主な河川としては、大根川、多々良川、御笠川、那珂川、室見川、瑞梅寺川などがありますが、いずれも二級河川であり、河川延長、流域面積ともに小さく、水資源に恵まれていません。このため、水道水源の約3分の1を筑後川に頼っています。

圏域内では、山神水道企業団が筑紫野市及び太宰府市の2市に、福岡地区水道企業団が福岡市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、糸島市、古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、粕屋町、春日那珂川水道企業団及び宗像地区事務組合の6市6町1企業団1事務組合(久山町は企業団の構成員であるが未給水)に水道用水の供給を行っています。

また、北九州市が古賀市、新宮町及び宗像地区事務組合の1市1町1事務組合に水道用水の

供給を行っています。

なお、山神水道企業団は、筑後圏域の三井水道企業団に水道用水の供給を行っています。

主な水道水源としては、筑後川水系の江川ダム、寺内ダム、那珂川表流水、南畑ダム、脊振ダムなどがあります。

本圏域においては、圏域の全範囲を計画区域とする福岡地域広域的水道整備計画（平成18年10月策定）が策定されています。この計画に基づいて、五ヶ山ダムなどの広域的な水道施設の整備が進められているところです。

広域連携に向けた取組状況としては、圏域内の水道事業者及び水道用水供給事業者が事業統合だけでなく事務処理の共同実施や共同施設の設置などを含む多様な形態による広域化について協議する場に参加しています。

【北九州圏域】

北九州圏域は、三方を響灘、関門海峡、周防灘の海に囲まれ、中心に福智山地があります。圏域内を流下する主な河川としては、一級河川の遠賀川、山国川、二級河川の紫川、今川、祓川などがあります。

圏域内では、京築地区水道企業団が行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町及び築上町の2市5町に、北九州市が岡垣町に水道用水の供給を行っています。

なお、北九州市は、福岡圏域の古賀市、新宮町及び宗像地区事務組合の1市1町1事務組合、筑豊圏域の香春町に水道用水の供給を行っています。

主な水道水源としては、遠賀川表流水、油木ダム、ます淵ダム、力丸ダム、耶馬溪ダムなどがあります。

本圏域においては、圏域の一部である京築地域を計画区域とする京築地域広域的水道整備計画（平成2年10月策定）が策定されています。この計画に基づいて、伊良原ダムなどの広域的な水道施設の整備が進められているところです。

広域連携に向けた取組状況としては、圏域内の水道事業者及び水道用水供給事業者に加え隣接する福岡圏域及び筑豊圏域の一部の水道事業者が、事業統合だけでなく事務処理の共同実施や共同施設の設置などを含む多様な形態による広域化について協議する場に参加しています。

【筑後圏域】

筑後圏域は、北部は福岡圏域と接し、西部は筑後川を境に佐賀県と、南部は筑肥山地を境に熊本県と、さらに東部は筑後川の源となる大分県に隣接しています。圏域内を流下する主な河川としては、一級河川の筑後川、矢部川が流れています。圏域内の大部分が両河川の流域に包含されています。

圏域内では、福岡県南広域水道企業団が大牟田市、久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、朝倉市、みやま市、筑前町、大木町、広川町、三井水道企業団の8市3町1企業団に水道用水の供給を行っています。

また、山神水道企業団が三井水道企業団に水道用水の供給を行っています。

主な水道水源としては、筑後川表流水、江川ダム、寺内ダム、大山ダムなどがあります。

本圏域においては、圏域の全範囲を計画区域とする筑後地域広域的水道整備計画が策定されています。この計画に基づいて、小石原川ダムなどの広域的な水道施設の整備が進められてい

るところです。

広域連携に向けた取組状況としては、圏域内の水道事業者及び水道用水供給事業者が事業統合だけでなく事務処理の共同実施や共同施設の設置などを含む多様な形態による広域化について協議する場に参加しています。

【筑豊圏域】

筑豊圏域は、東部の福智山地、西部から南部にかけての三郡山地に三方を囲まれています。中央部から北部にかけては、比較的平らな地域になっています。圏域内を流下する主な河川としては、地域の中央部を一級河川の遠賀川が流れています。

圏域内では、田川地区水道企業団が田川市、川崎町、糸田町及び福智町の1市3町に水道用水の供給を行っています。

また、北九州市が香春町に水道用水の供給を行っています。

主な水道水源としては、遠賀川表流水、力丸ダム、犬鳴ダム、陣屋ダムなどがあるほか、試験湛水中の伊良原ダムがあります。

本圏域においては、圏域の一部である田川地域を計画区域とする田川地域広域的水道整備計画(平成2年10月策定)が策定されています。この計画に基づいて、伊良原ダムなどの広域的な水道施設の整備が進められているところです。

広域連携に向けた取組状況としては、圏域内の水道事業者及び水道用水供給事業者が事業統合だけでなく事務処理の共同実施や共同施設の設置などを含む多様な形態による広域化について協議する場に参加しています。

特に、田川地域においては、田川地区水道企業団とその構成団体である田川市、川崎町、糸田町及び福智町の1市3町1企業団が水道広域化に向けた具体的な取組みを進めており、平成31年4月に経営の一体化を実現する予定です。

表4-1 圏域の区分及び構成市町村一覧

圏域名	構成市町村	面積(km ²)	人口(人)
福岡圏域	福岡市、筑紫野市、春日市、 大野城市、宗像市、太宰府市、 糸島市、古賀市、福津市、那珂川市、 宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、 新宮町、久山町、粕屋町	1,171.80	2,532,620
北九州圏域	北九州市、行橋市、豊前市、中間市、 芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、 苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、 築上町	1,170.56	1,267,840
筑後圏域	大牟田市、久留米市、柳川市、 八女市、筑後市、大川市、小郡市、 うきは市、朝倉市、みやま市、 筑前町、東峰村、大刀洗町、大木町、 広川町	1,659.58	887,711
筑豊圏域	直方市、飯塚市、田川市、宮若市、 嘉麻市、小竹町、鞍手町、桂川町、 香春町、添田町、糸田町、川崎町、 大任町、赤村、福智町	984.58	409,982

※ 面積は、国土地理院平成29年全国都道府県市区町村別面積調による

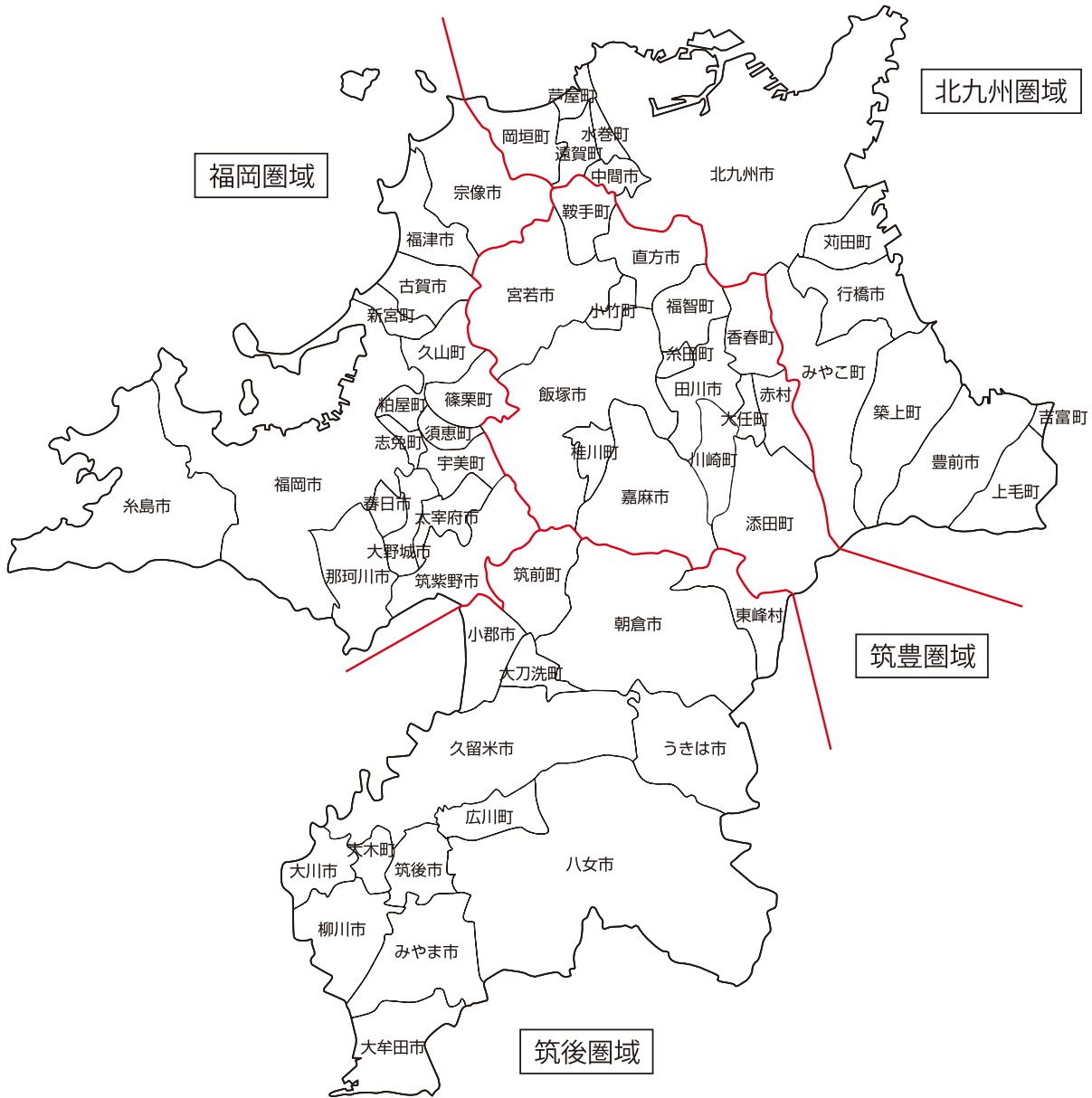


図4-1 圏域区分図